

# 刈田町立図書館 新着推し本紹介のコーナー

## 5月の推し本



『その話、諸説あります。』

ナショナルジオグラフィック // 編 ナショナルジオグラフィック社 請求記号 049 / 7 / 資料番号 610108060

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00597906>

【紹介文】鎌倉幕府の成立が「イクニツクロウ鎌倉幕府」で1192年ではなくなったと聞いた時は衝撃だった。教科書に載っていて、学校で教わったことが変わってしまうなんて...今では鎌倉幕府の成立にも様々な説があるという。この本は、「世界史」「日本史」「科学」「生き物」「宇宙」の5ジャンル24個の問いに102個の説を紹介している。あくまで諸説であり、証明はされていないので真相はわからない。この世界は、わかっていることよりも、わかっていないことの方が多いのだそう。気軽に楽しみ、好奇心がくすぐられる一冊です。

『2050年世界人口大減少』

リル ブリッカー // 他著 文藝春秋 請求記号 334.3 / 7 / 資料番号 610108490

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00598459>

【紹介文】世界の人口が2050年に人類史上初めて、減少に転じ二度と増加することはない...。そうなったとき、世界は日本はどのような対策をしていくのだろうか？未婚率の増加、出生率の低下、未知のウイルス、人口減少には様々な要因がある。現在の日本は人口1.27億人。その中央年齢は47歳。アフリカの19歳と比べるとどれだけ高齢化が進んでいるのか分かる。出生率が増える傾向がみられない日本でこの先、人口を増やしていくには【移民】を受け入れるしか方法がないのか？

30年先の未来について考えさせられる一冊です。

『スマホ依存から脳を守る』

中山 秀紀 // 著 朝日新聞出版 請求記号 493.7 / 7 / 資料番号 610107344

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00597719>

【紹介文】今や大人から子供まで多くの人がスマートフォンを持っている時代です。スマホ一つあれば、通話はもちろん調べ物やゲーム、本を読んだりと多くのことができます。その分スマホを触る時間が増え、様々な問題も出てきます。その一つがスマホ依存です。自覚している方も多いのではないのでしょうか？何かに依存してしまう条件は「快楽」をもたらすこと、「飽きない・飽きにくい・続けられる」だそうです。「快楽」とは楽しい、リラックスする、刺激的など。

確かにスマホには様々な機能があり飽きることなく楽しめます。身近な問題であるスマホ依存。だからこそ依存症の恐ろしさを改めて感じた一冊です。

『いのちを刻む 鉛筆画の鬼才、木下晋自伝』

木下 晋 // 著 藤原書店 請求記号 723.1 / 7 / 資料番号 610103228

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00596777>

【紹介文】「ハルばあちゃんの手」という絵本をご存知でしょうか？手にほくろのある女性の一生を題材にした絵本なのですが、鉛筆の濃淡のみで描かれたリアルな絵は、華やかでかわいい絵本の中で異質ながら存在感があります。「いのちを刻む」はその絵を描いた木下晋氏の自伝です。母親には放浪癖があり中学三年で父親を亡くします。高校二年生の時に自由美術協会展に最年少入選し有名人となりますが、すぐに画家として成功したわけではなく受賞後も波瀾万丈です。きれいごとだけではない「生きる」ことの本質を描く理由が見えてくると同時に、氏の人生を支えた人たちへの感謝を感じる本です。

『『広辞苑』をよむ』

今野 真二 // 著 岩波書店 請求記号 813.1 /カ/ 資料番号 610103624

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00596765>

【紹介文】小学生の頃、はじめて辞書の引き方を覚えたのではないだろうか。中学生以上になると、学習時には必ず手元に置き、引いたものだ。現在はスマホなどで簡単に調べることができるが、あのぶ厚い本を開き50音順に並べられた文字の中から見つけれられた時の達成感、ほんとに頭を使っている。

この本は「広辞苑」の歴史から某有名辞書との比較、使い方、そして遊び方まで教えてくれる。辞書の中の王道と思う「広辞苑」は、改版を重ね第7版の出版となり、新語造語まで網羅している。辞書作りに熱い情熱をかけた編集部員たちの小説「舟を編む」（三浦しをん著）もあわせて読んでほしい。

『心を支えるシェイクスピアの言葉』

河合 祥一郎 // 著 あさ出版 請求記号 932.5 /カ/ 資料番号 610107716

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00597826>

【紹介文】新型コロナウイルスが猛威を振るう現在、私たちはいまだ体験したことのない、未曾有の危機に直面している。シェイクスピアが生きた17世紀のロンドンでも、ちょうどこのような事態であったと言われている。疫病の流行のためパトロンが死に、仲間が死に、演劇というものが失われる危機。劇場封鎖、公衆演劇の死はすなわち、演劇に携わっていた者たちの死そのもの。その時代を経て、いまだ演じ継がれるシェイクスピア作品。不安な時代を生きる私たちの心にささる言葉にふれたい。

『テツコ・プーふうせんになったおんなのこ』（児童書・絵本）

児島 なおみ // 作・絵 偕成社 請求記号 E /カ/ 資料番号 620037580

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00597102>

【紹介文】最近、どこにも行けなかつたりで気持ちかもやもやとして、ほっぺたをプーっとふくらましてだだこねたい！っておもうこともしばしば。テツコ・プーは朝からプーっとしたい気持ちでいっぱいでもっともっとプーっとしていたらふうせんになってどこか遠くへ飛んで行ってしまいました。ふうせんみたいにふわふわ空を飛んでかぜやカラスとおしゃべりなんて楽しそうって思えるけれど、だんだん不安になってしまうのかな...やっぱりおうち、家族と一緒にが一番なのかもしれませんね。

『グレタのねがい』（児童書・環境問題）

ヴァレンティナ キャメリニ // 著 西村書店 請求記号 451 /カ/ 資料番号 620037507

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00597110>

【紹介文】15歳の少女が、国連サミットで地球温暖化を止めるために政治家の大人たちを前に堂々と演説してから、もう2年が経ちました。2年の間にも地球では、様々な異常気象のためか自然災害が多く発生しました。今もグレタは世界中の人たちに訴え続けているのでしょう。しかしながら、今年も新型コロナウイルスのせいで非常事態宣言が出て、インドなどでは美しい青空をみることもあったとか・・・非常事態ではあるけれど、地球にとっての非常事態についても考えてみてほしいのではとおもってしまいました。

問い合わせ先

苅田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30（木・金は19：00まで。本館のみ）

ホームページから蔵書検索もできます



(2020.5.2発行)